

日生諸島の漁業・観光・生活を支える港づくり計画 中間評価報告書

備前市

日生諸島の漁業・観光・生活を支える港づくり計画 事業中間評価

1. 地域再生計画の目標

鴻島港及び大多府漁港では、本土と離島間の定期航路の運行や漁獲物の水揚げ等を行っており、本地域の係留施設、外郭施設の整備により、本土と離島の海上交通機能の確保や、診療船等の係留の安全化に取り組むことで、住民組織や漁業関係団体及び地元行政等の離島振興活動や漁業後継者の確保・育成に向けた活動と連携し、地域の一体的な再生と発展を図るものである。

2. 地方創生港整備推進交付金の対象事業

(1) 事業主体

- ・岡山県及び岡山県備前市

(2) 施設の種類

- ・港湾施設（鴻島港：備前市）、漁港施設（大多府漁港：岡山県）

(3) 事業区域

- ・岡山県備前市の区域の一部（鴻島港及び大多府漁港）

(4) 事業期間

- ・港湾施設 令和4年度～令和8年度
- ・漁港施設 令和5年度～令和6年度

(5) 整備量

- ・港湾施設 水域施設、外郭施設、係留施設
- ・漁港施設 係留施設

(6) 事業費

- ・総事業費 600,500 千円（うち交付金 441,300 千円）
- ・港湾施設 590,500 千円（うち交付金 435,300 千円）
- ・漁港施設 10,000 千円（うち交付金 6,000 千円）

(7) 事業の進捗状況（令和6年度末時点実績）

- ・鴻島港 整備量 0.13 式
事業費 80,080 千円（うち交付金 47,350 千円）
- ・大多府漁港 整備量 1.2 基
事業費 9,805 千円（うち交付金 5,883 千円）

3. その他事業

- (1) 里海・里山づくり事業
- (2) 渚の交番(ひなせうみラボ)事業
- (3) ひなせかき祭
- (4) 日生諸島の観光キャンペーン

4. 事業の実施状況に関する客観的な指標及び中間実績値

	令和3年度 (基準年度)	令和6年度 (中間年度)	達成の有無
指標1 日生諸島を訪れる観光客数	408千人	【目標値】432千人	×
		【実績値】342千人	
指標2 日生諸島の登録漁船数	203隻	【目標値】203隻	×
		【実績値】192隻	

5. 実績値の評価

指標1 日生諸島を訪れる観光客数については、中間評価目標値を90千人下回っており、目標達成が厳しい状況である。

指標2 日生諸島の登録漁船数については、中間評価目標値を11隻下回っており、現時点では若干減少傾向にある。

6. 今後の方針

地域再生計画に記載した数値目標の実現については、指標1は、中間評価目標値を下回る数値となっており、目標達成が厳しい状況であるが、引き続き計画を推進し目標値を達成できるように推進する。また、指標2は、微減しているが、概ね現状維持ができている。引き続き登録漁船数を維持できるように努める。

事業の進捗については、鴻島港は、令和4年度から令和8年度の事業計画で、港湾施設整備1式のうち、中間年度で0.13式の進捗となっており、令和8年度に設計業務完了予定である。設計業務に時間を要したことから、事業計画期間内での完了が困難な状況であるため、事業期間を2年延伸する。また、地元地区より定期船等利用のため、駐車場の整備（臨港交通施設）が望まれていることから、計画目標を鑑み、海上交通機能強化のため、駐車場整備が必要と考える。

大多府漁港は、令和5年度から令和6年度の事業計画で、係留施設2基を整備する計画である。物揚場の一部において更新が必要となったことから進捗が遅れているが、主たる工種は概成しており、令和7年度中の完成予定としている。